



令和3年度 新規事業箇所調査書

(港湾整備課)

事業名	津波対策緊急事業						
河川・路線・施設名等	清水港海岸	日の出地区	所在市町	静岡市清水区			
事業費	5,315 百万円		事業期間	R3 ~ R12			
<b>事業概要、目的</b> (1) 事業目的 清水港海岸の日の出地区は、物流、人流、緑地、商業、行政等の多様な施設や機能が集積している上、緊急輸送路や緊急輸送岸壁等の防災施設も有しており、防災拠点として機能することが期待されている。一方、切迫する東海地震等の大規模地震により発生する津波の到達時間が短いと想定され、ひとたび津波が発生すると甚大な浸水被害の発生を危惧しているが、津波対策施設の整備が進んでいない。このため、当地区の津波対策施設の整備を重点的に進め、背後地域の安全・安心を守る。 (2) 事業内容 胸壁（新設）等 L=1,774m							
費用対効果(B/C)	1.4	総費用	44 億円	総便益	61 億円	基準年	R3
<b>費用対効果分析の手法</b> 「海岸事業の費用便益分析指針（改訂版）（令和2年4月一部更新）」平成16年6月 海岸4省庁 「治水経済調査マニュアル（案）（令和2年4月）」国土交通省 水管理・国土保全局							
<b>評価指標、項目</b> 本事業を実施することで得られる効果（貨幣換算可能な便益） <b>浸水防護便益</b> 海岸保全施設の整備により、浸水戸数（想定被害家屋数）約 390 戸の解消（浸水防護面積 約 25ha）を浸水防護便益として計測する。							
<b>事業概要図</b> 							

## 令和3年度 新規事業箇所調書

(港湾整備課)

事業名	高潮対策事業						
河川・路線・施設名等	相良港海岸			所在市町	牧之原市		
事業費	640 百万円			事業期間	R3 ~ R11		
事業概要、目的							
(1) 事業目的 南海トラフ等で発生する地震に伴う津波による被害から背後地にある住宅、宿泊施設、国道150号及び牧之原市海浜体育館等を防護するため既存海岸保全施設を改良（嵩上げ）する。							
(2) 事業内容 堤防（改良）等 L=4,185m							
費用対効果(B/C)	4.3	総費用	15 億円	総便益	65 億円	基準年	R3
費用対効果分析の手法 「海岸事業の費用便益分析指針（改訂版）（令和2年4月一部更新）」平成16年6月 海岸4省庁 「治水経済調査マニュアル（案）（令和2年4月）」国土交通省 水管理・国土保全局							
評価指標、項目 本事業を実施することで得られる効果（貨幣換算可能な便益） <u>浸水防護便益</u> 海岸保全施設の整備により、浸水戸数（想定被害家屋数）約397戸の解消（浸水防護面積 約24ha）を浸水防護便益として計測する。							
事業概要図							
<p>相良港海岸（片浜地区、相良・須々木地区）L=4,185m</p>							